



日本動物学会関東支部第78回大会に参加しました！

令和8年3月14日(土)埼玉大学にて行われた、日本動物学会 関東支部 第78回大会に79期4組辻田優花さんが参加しました！研究タイトル、アブストラクトは以下のとおりです。

【研究タイトル】

ムクドリの顔の模様差について

【アブストラクト】

ムクドリは日本で広く見られる身近な野鳥の一種であり、その顔の模様には個体差ごとにさまざまなバリエーションが存在する。しかし、これらの差を形態的特徴として定量的に比較・分析した研究はほとんど行われていない。

本研究ではムクドリの顔写真を使い、基準線を用いて頬斑と眉斑の二つの部位に分けて形状を抽出し、座標平面上の点群データとして数値化することで模様の差を可視化した。さらに、得られたデータを用いて個体間及び地域ごとに模様の分布特性を比較し、顔の模様に地域差が認められるか検証した。



✿辻田さんにお話を聞いてみました✿

Q：研究のきっかけ

以前から鳥が好きで、鳥に関する研究がしたいと考えていました。そこで、研究テーマを検討していたところ、身近な研究対象であれば多くの人に興味をもってもらえただけと考え、ムクドリの顔の模様をテーマに選びました。

Q：会場の様子

会場では、学校のポスターセッションよりも人と人との距離が近いので、活発な意見交換が行われていました。また、参加者も研究に積極的で、自分も議論に参加しやすい雰囲気でした。

Q：他校の発表を聞いて

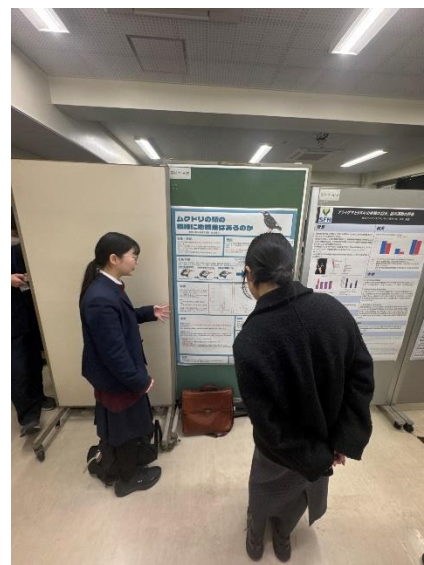
他校の研究はテーマや手法が多様で、新しい視点や工夫が多くあり、とても刺激を受けました。発表者が楽しそうに話していたことも印象に残っています。

Q：発表した感想

最初は緊張していましたが、熱意をもって聞いてくださる方が多く、次第に楽しさの方が大きくなっていました。自分では気付かなかった視点からの質問もいただき、研究について深く考える良い機会になりました。

Q：後輩へ一言

もし学会に出るか迷っている方がいたら、私は参加することをおすすめします。自分と同じ分野に興味をもち、情熱を注ぐ人たちと話すことはとても刺激になり、きっと貴重な機会になると思います。



実際に使用したポスターはAB棟間2階渡り廊下(東)に掲示しています。ぜひご覧ください！